



12.つくる責任 つかう責任
15.陸の豊かさも守ろう



海を越えてやってきたヘイズ。街全体がよどんだ煙で覆われる。

明るい空になれ!

10歳まで住んでいたシンガポールでときどき突然現われた真っ白な朝。煙の臭いで目が覚める。ヘイズ(煙霧)だ。2015年9月のヘイズは、その基準となる大気汚染指数*が朝からぐんぐん上がって夜には300を超え、国中が丸ごと煙に包まれた。翌日、私が通っていたインターナショナルスクールを含め、全島のすべての小学校が休校となった。

学校に通えなくなっただけではない。煙はPM2.5などの有害物質を含んでいて健康被害も出た。また、210ヘクタールの森林が燃えたといわれ、二酸化炭素排出による大気汚染への影響も深刻だ。

どうしてこんなことになってしまったのだろうか。原因はインドネシアなどで続く野焼きや、熱帯雨林の火災で流れてくる煙害とわかった。自然災害が多い日本に帰国し、地震や台風など避けられない被害を目にすると、ヘイズを引き起こす原因が自然ではなく人間の活動であることにあらためて驚いた。背景には貧困・人口増加などの要因とともに、野焼きによって生産されるモノを周辺国が買っているという複雑な事情もあるという。

これを食い止めるために私ができることはほとんどないかもしれない。しかし、この状況を理解すること、この体験を友達や周りの大人に伝えること——こんな小さな行動でも解決につながる大切な一歩だと思っている。

*大気汚染の度合いを示す指標。0~500の数値で示され6段階に分かれる。300~500になると、深刻な汚染/危険とされる。

今月の投稿(文と写真)影山遥奈さん
父親の転勤に伴い、0歳から2歳までマレーシアで、10歳までシンガポールで暮らす。世界70か国以上の国の子どもたちが通うカナディアンインターナショナルスクールでは、世界各地の災害などに対してさまざまな奉仕活動や寄付活動が行われていた。現在、中学3年生。

あなたの投稿をお待ちしています!

「わたくしが見つけたSDGs」に写真と文章をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題やその解決に向けた取り組みのエピソードなど、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。

応募要項:写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。

*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (「mundi」編集部宛て)



SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)と
JICAの取り組み

